

# きたがた 議会だより

No.191  
令和5年8月1日



初めての議場に興味しんしん  
町立南学園の3年生が議場を見学(12ページ)

## Contents

第2回定例会開かれる.....	2
一般質問.....	5

北方町議会  
ホームページ



# 定例会開かれる

【会 期】 6月5日～14日 計10日間  
 【付議事件】 補正予算 3件(内専決2件) 人事案件 2件  
 条 例 6件(内専決3件) その他 1件

全議案と議決結果



## 本会議の主な議案

### ◎補正予算

- 一般会計補正予算(第1号) 約5,800万円(専決処分)  
 新型コロナワクチン接種費用
- 一般会計補正予算(第2号) 約1,100万円(専決処分)  
 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金費用
- 一般会計補正予算(第3号) 約1億300万円  
 住民税非課税世帯等給付金事業費 約5,600万円  
 岐阜県第2子以降出産祝金事業費 約1,000万円  
 本巢消防署庁舎建設負担金(本署分) 1,200万円 など

### ◎条例

主な条例を抜粋

- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正  
 利用者の移動のために自動車を運行するときは、乗り降りの際に点呼その他の方法により利用者の所在を確認することを規定。
- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正  
 安全計画の策定等の義務化、バス送迎時の安全管理の徹底、感染症や食中毒対策の明確化などを規定。

### ◎その他の議案

- 監査委員の選任同意について  
 引き続き、横山 治氏を選任。任期は4年。
- 農業委員会委員の選任同意について  
 9人の委員を選任。任期は3年。
- 字の区域及び名称の変更について  
 高屋西部土地区画整理事業地内の町界町名変更による

# 令和5年 第2回

●6月定例会では、補正予算3件を含む12件の議案を審議しました。また、議会改革推進委員会を開催し、町議会の政治倫理要綱などについて協議しました。

## 各委員会の主な質疑及び協議内容

### ◎常任委員会

#### 総務教育常任委員会

委員長：村木俊文 副委員長：杉本真由美 委員：井野勝己、鈴木浩之、神谷巧

Q 一般会計補正予算(第3号)の中で、歳入の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の用途は。

A 全額、住民税非課税世帯給付金事業に充てられます。

Q 補正予算で消防費の退職報償金の内容は。

また、消防団員が不足しないように、団員の確保に努めてもらいたい。

A 報償金の対象者は、7人です。今後も団員確保に努めます。

Q 補正予算で教育費こども園管理費の教育・保育業務委託料は何のための予算か。また、こども園の開園にあたり職員の負担増は。

A こども園の保育教諭を会計年度任用職員の他に、人材派遣により採用するための費用です。また、開園準備のため時間外勤務など職員の負担が増えていましたが、現在は落ち着いてきました。



#### 厚生都市常任委員会

委員長：安藤哲雄 副委員長：三浦元嗣 委員：安藤浩孝、松野由文、石井伸弘

Q 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正で、安全計画や衛生管理について監査はどうしているか。

また、懲戒権について改正することになった根拠は。

A 町の保育園については県による監査を受けています。また、懲戒権については民法の改正に伴うものです。

Q 一般会計補正予算(第3号)内で、馬道公園の徒渉池撤去の予算があがっているが、宮東公園の徒渉池はどうするのか。

A 馬道公園同様廃止の方向で検討しており、次年度以降に予算化を協議する予定です。

Q 字の区域及び名称の変更について、変更案になるまでの経緯は。また、町は関与したのか。

A 令和元年10月から、高屋西部土地区画整理組合が自治会に意見を求めながら協議されました。この事業は、組合施行の区画整理であるため、組合から要請がない限り町の関与は難しいです。



## ◎特別委員会

### 議会改革推進委員会

委員長：三浦元嗣 副委員長：石井伸弘

委員：井野勝己、安藤浩孝、鈴木浩之、安藤哲雄、杉本真由美、松野由文、村木俊文、神谷巧

#### ○北方町議会議員政治倫理要綱

「第3条第7項 町が補助や助成している団体の長に就任しないこと」 について

現在、一般的に団体の長になる人がなかなかいない状況で、議員も今後、長の就任を依頼された場合、団体の一助となれることはやぶさかでないと思われ、この項目については削除する予定で検討を進めていく。

#### ○議会本会議(一般質問)のインターネット配信等について

現況、他市町の動画再生回数や登録者数をみても決して多くないため、すぐに行う予定はないが、今後も他市町の状況を見定めていきたい。

## 本定例会における議決結果

次の1議案を除き、全会一致で可決しました。

議案	反対議員
字の区域及び名称の変更について	安藤(浩)、安藤(哲)、石井

## 議会日誌

令和5年4月～6月

- 4月** 12日 議会だより編集委員会
- 5月** 23日 町村議会議長・副議長研修会  
30日 議会運営委員会
- 6月** 1日 県町村議会議長会  
5日 第2回議会定例会(第1日)  
8日 第2回議会定例会(第2日)  
議会改革推進委員会  
9日 第2回議会定例会(第3日)  
12日 厚生都市常任委員会  
総務教育常任委員会  
14日 第2回議会定例会(第4日)  
27日 県市町村振興協会評議員会

## 6月議会の傍聴者数

延べ **53人**

ありがとうございました

## 町議会議員選挙 投票日

**9月17日(日)**

期日前投票は13日から

詳細は、広報きたがた9月号でお知らせします。

問 北方町選挙管理委員会

TEL (058)323-1111

総務危機管理課内



安藤浩孝 議員

## ごみ出し困難世帯(高齢者・障がい者・要介護者・小さな子ども世帯)への支援

**問** ごみ出しに困っている高齢者や障がい者、単身世帯で要介護や要支援認定を受けている方などの実態調査や把握は。

**答** 福祉子ども課長

ご質問の区分での調査は実施していませんが、昨年度、要介護の認定を受けていない高齢者を対象に実施したアンケート(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)において、利用したいサービスとして28.9%の方が「家屋内のごみ出し」と回答しています。

**問** 暮らしを支える活動団体「北方くらし助け愛隊」活動状況と今後の課題は。

**答** 福祉子ども課長

昨年度は、延べ43人、507件の活動がありました。主にごみ出し、電球取替、庭の管理、室内清掃、買い物代行や付き添いなど、支え合いの気持ちの範囲内で活動されています。

一番の課題はサポーターの不足です。活動内容の性格上、依頼者の近隣にサポーターがいない場合、依頼を受けることができないといった課題があります。

**問** ごみ出し困難な世帯への対応として自宅玄関先での戸別回収の実施取り組みの考えは。

**答** 都市環境課長

業務費の増加や委託業者の人員・車両の確保などさまざまな課題があるため、現段階では具体的な計画はありません。まずは、福祉部局や関係団体とも連携し実態把握を行い、財政状況も勘案しながら対象者の範囲、支援の取組主体、支援サービス方法など、支援策について研究・検討していきたいと思えます。

## 岐阜バス IC カード乗車券「アユカ」について

**問** 岐阜バスは、令和6年3月からICカード乗車券「アユカ」を「マナカ」(全国の鉄道・公営交通と相互利用、買い物電子マネー利用可)に移行すると発表した。マナカ移行後の助成実施の考えは。

**答** 政策財政課長

マナカは電子マネーとして利用できるため、公共交通機関の利用促進策としての目的に沿わなくなることから、マナカへの積み増し助成は行わない予定ですが、今後もそれに代わる何らかの助成制度を続けていきたいと考えています。

**問** マナカ移行後、アユカは令和8年春廃止の予定。廃止による町の交通政策への影響と利用についての問題点は。

**答** 政策財政課長

アユカ廃止による交通政策への影響は特にないものと考えますが、利用についての問題点として、チャージ残高の払い戻しやマナカの利用方法の周知などが考えられます。切り替えの混乱が最小限となるよう、周知PRについて協力していきたいと思えます。

**問** 町が行う岐阜バスへの支援策がマナカ移行により不透明になる中、バスの減便、利便性の低下の心配はないのか。

**答** 政策財政課長

今回のマナカ移行は、利便性の向上によって利用者を増やすことを目的の一つとしているため、直ちに減便につながるようなことはないと推測しています。アユカ助成に代わる新たな支援策については、地域公共交通協議会などで専門的な助言をいただきながら検討していきたいと思えます。



井野勝巳 議員

## 都市計画道路 運動場加茂線について

**問** 運動場加茂線は、町と岐阜市を結ぶ幹線道路であり、広域交流や緊急輸送道路として重要な路線と位置付けられている。また、防災・減災や交通渋滞解消のためにも早急に開通に向け取り組まなければならない。  
平成25年に一般質問を行った当時、加茂地区から岐阜県農業技術センターまで完成していたが、この10年変化が見られない。これまでの進捗状況と全面開通のための協議会設立の考えは。

**答** 町長

運動場加茂線の早期完成については、これまでも岐阜市に対し要請を続けており、国会議員への陳情や県への要望など、喫緊の課題として取り組むようお願いしてきました。

そうした中、岐阜市では事業化に向けた部分的な調査が実施され、市長が会長を務める協議会等においても尻毛橋が架かる伊自良川狭窄部の早期解消に向けた要望がなされたところです。

協議会の立ち上げは大変難しいと考えますが、未整備区間の大半が岐阜市であることから、まずは西部縦貫道線までの約500メートルを優先的に整備するよう粘り強く要望し、その進捗を見ながら町内の未整備区間の整備を進めていきたいと思います。



運動場加茂線の岐阜市境(朝日町東)  
写真左:岐阜県農業技術センター正門前

## 子どもと向き合う学校づくりについて

**問** 東京都のある中学校では、生徒の主体性を生かす取り組みとして生徒と教職員が週1回対話する時間を設けた。生徒の自発的、主体的な発達を支えるとともに、それぞれの課題を初期段階でつかみ対応することができ、いじめ防止にも効果があったという。町でもこうした対話時間の創設ができないか。

**答** 教育長

教師が子どもと向き合い、子ども一人ひとりについてよく理解して指導にあたることは極めて大切なことだと考えています。各学園では、各種アンケートや個別相談など子どもの意見を聴く場を多く設けており、今年度からはタブレットを活用して子どもの思いなどを聴く取組も始める予定です。今後も、教師と子どもが向き合い、対話等を通して、より一層子ども理解に努め、問題行動の未然防止や主体性を育てる取組を確実に行っていきたいと思います。



村木俊文 議員

## 安心な町づくりのために

問

南東部開発事業における企業誘致エリアに、2つの大型工場が進出した。過去に大型工場ができた際は、公害防止協定を結んでいるが、行政面積がせまいことや岐阜市との行政界であることなどを踏まえ、今回はどのように考察したのか。

答

都市環境課長

企業誘致エリアは、地区計画を策定して著しく環境を悪化させるおそれのある工場は建築できないようにしており、そのうえで、製造工程や使用する油等の管理・処分が適正であると確認できたため、公害防止協定等の締結の必要性はないと判断しました。両社とも、企業立地に関する協定を締結し、周辺地域や環境に影響を及ぼさないよう十分配慮することとしていますが、引き続き定期的な連絡確認を行い、情報交換など連携を図っていきます。

問

北側の工場は、大量の地下水をくみ上げ飲料水として販売する。地盤沈下が懸念されるが、地下水位の観測等どのように検討しているか。

答

都市環境課長

飲料水の製造販売工場においては、計画している揚水量に対して、周辺の水位変動や水質への影響を確認するため、隣接する土地改良区の揚水機を借りて調査を実施したほか、工場内の揚水機において継続的に水位を計測していることを確認しています。

問

新型コロナウイルス感染症は、5月8日から5類感染症に移行し、感染対策が大幅に緩和されたが、主にハイリスク者に対する感染症対策をどのように進め徹底するのか。

答

健康推進課長

現在主流となっているオミクロン株は、比較的重症化率が低いとされていますが、高齢者や基礎疾患を有する方については重症化するケースが一定の割合で見られます。今後、ハイリスク者及びその同居家族に対してワクチン接種の勧奨を行うとともに、基本的対処方針(マスク着用、手洗い等の手指消毒、換気、3密の回避、人同士の距離の確保)を継続していただけるよう情報発信をしていきたいと考えています。

## 障がい者支援について

問

現在使用されている障害者手帳は紙製で、耐久性が低いなどの問題があったため、カードによる発行が可能となった。カード化により、耐久性や利便性が向上し、プライバシーも守られる。

障害者手帳の発行主体である県に対し、町として早期カード化を要望できないか。

答

福祉子ども課長

現在のところ、発行主体である県において手帳のカード化に向けて調査検討が実施されているようですが、具体的な導入に向けての動きはありません。今後、町でも利用者の声としてカード化に向けての要望を行っていきます。



杉本真由美 議員

## 発達性読み書き障がい（ディスレクシア） 実態と対応について

**問** ディスレクシアは、全体的な発達に遅れはないのに文字の読み書きに限定した困難を示す学習障がいの一つ。  
北方学園ではディスレクシアの疑いのある児童生徒をどの程度把握しているか。

**答** 教育課一貫校推進室長  
北学園と南学園において、現在、学習障がいとされる児童生徒は6人で、そのうちディスレクシアの診断を受けているのは2人です。

**問** 学校現場における早期発見のための対策と、障がいの困難さを軽減するための対応は。

**答** 教育課一貫校推進室長

学校では、教育支援委員会や学校心理士・医師などによる巡回参観を行い、普段の子どもの様子と重ね合わせて早期発見に努めています。

困難さに対しては、黒板の文字をタブレットで撮影する、仲間や教師が寄り添い声かけするなどにより軽減を図り、読み上げ教科書等はそれぞれの実態に応じて使用しています。今後は、高校見学についての相談も行う予定です。また、学習障がいを複合的に持っている場合もあるため、状況に応じて総合的に支援を行っています。

**問** 保護者と学校現場、医師、療育機関との連携は。

ディスレクシアの周知のための取り組みは。

**答** 教育課一貫校推進室長

保護者と本人の願いを十分に聞いた上で支援するため個別の支援計画を作成し、よりニーズに合った支援を行っています。また、関係機関からの情報を学校との連携に生かしています。

また、周知については、もとず療育センターが特別支援教育の講演を毎年実施しており、保護者の参加も可能です。障がいのある児童生徒及び保護者の意向を十分に考慮し、適切な方法を検討していきます。

## 出産・子育て応援ギフトと 広域連携システムの活用

**問** 出産・子育て応援ギフトの事業開始前に妊娠・出産された方への給付方法は。  
電子クーポンにより自宅で育児用品や支援サービスが選べる広域連携システムの活用は。

**答** 健康推進課長

事業開始時点で出生されている対象者には、出産応援ギフトと子育て応援ギフト両方の申請書を送付し、漏れなく給付事業を行いました。

広域連携システムは、県が専用サイトの年内稼働を目指して取り組んでいます。このシステムは、応援ギフトの給付以外に町の母子保健や子育て支援事業などに利用できるため、町でも積極的に活用したいと考えています。

## 分散避難者等の 避難状況把握について

**問** 県は、スマートフォンなどで分散避難者が避難状況を入力するシステムを9月頃から運用する予定。避難者の情報は、支援物資や健康相談などの必要な支援に活用するとしている。  
町での取り組みは。

**答** 総務危機管理課長

現在、分散避難者の把握は、本人などから人伝いで連絡いただくほかありませんが、今後は県のシステムによる情報収集が可能になると期待されます。まずは、このシステムを住民の方に知っていただくため広報や町ホームページなどで利活用方法の周知を行い、災害時には、このシステムで収集した情報を安否確認や物資配給などに活用していきたいと考えています。



安藤哲雄 議員

## 自転車の交通事故防止について

**問** 4月1日より自転車はヘルメット着用が努力義務化されたが、着用率は低い。普及のため自転車ヘルメット補助金を出してはどうか。

**答** 総務危機管理課長

補助金交付によりヘルメットの着用率は上昇するかもしれませんが、すでに購入している方々との間に不公平さが生じます。まずは、ヘルメット着用の重要性を認識していただくことが大切であると考えており、現時点で補助金交付は考えていません。

**問** 北方学園の7～9年生に対しての交通ルール、マナーの講習は。

**答** 教育課長

北方学園の7年生は、保健体育で「交通事故の現状や原因」「交通事故の防止」について学習します。また、北方科では、実際に通学路における交通事故の現状や安全を調べる学習を行い、危険予測を2年生に説明することで保健体育での学習をさらに深めています。

**問** グリーン通りは車道が狭いので、自転車は歩道通行が多い。歩道の段差が大きいので自転車にやさしい歩道の整備を望む。

**答** 都市環境課長

グリーン通りは自転車通行可能な歩道に指定されていますが、歩行者優先であることが道路交通法で定められています。通行に支障をきたす場合は修繕などを行いますが、歩道としての機能が確保されている現状において、自転車の通行に合わせた整備の予定はありません。

## 町の活性化について

**問** 町の観光案内パンフレットは、文字や地図が小さく分かりにくい。今より2倍以上の大きさを作成してはどうか。

**答** 政策財政課長

あまり大きいと持ち歩きには不便となるため、次回作成する際には内容を精査し、サイズも含めより見やすくなるよう検討します。

**問** 観光客の移動手段としてレンタサイクルを用意してはどうか。

**答** 政策財政課長

レンタサイクルは、以前、観光協会が実施していましたが、利用者が少ないなどの理由で廃止されました。そのこともあり、今のところ町として実施する予定はありません。

**問** 美濃市のような商店街でのクラシックカーフェスタや古民家での音楽コンサートなど、観光客の誘致が期待できるイベントについてどう考えるか。

**答** 政策財政課長

各種イベントには相応の集客力がありますが、その効果は一時的です。継続的な集客を望むなら関連施設の整備や他事業者との連携など、さまざまな視点から検討していくことが大切であると考えます。

なお、町が主催して美濃市と同様のイベントを行う予定はありません。



石井伸弘 議員

## 町立進学塾 実施状況と評価について

**問** 町立進学塾の実施状況と生徒や保護者、指導者からの評価は。南北学園の生徒の交流の継続に関する評価は。

**答** 教育長

現在の登録者は、8年生82人、9年生65人、計147人です。これまでに7回開催し、毎回約100人が参加しています。保護者からは「勉強ができてありがたい」「土曜日に規則正しい生活ができる」、生徒からは「友達と一緒に勉強ができてうれしい」「勉強に自信がついた」などの声があり、指導者の大学生からは「やりがいを感じる」などの感想を聞いています。

北学園と南学園の生徒の交流については、一緒に昼食をとるなど、楽しそうに過ごす姿が見られます。

## 7年生受け入れの可能性と次年度以降の実施について

**問** 8・9年生を対象とした町立進学塾に受け入れ余地があれば、7年生も対象にできないか。また、事業の評価を踏まえて7～9年生を対象とした事業継続は考えられないか。

**答** 教育長

町立進学塾の実施目的が北方中学校の生徒が2つの学園に分かれることによる進学や友達関係などに対する不安の解消であることから、新たに7年生を受け入れることは想定していません。

また、実施目的から、次年度は9年生を対象に実施し、それ以降の継続は考えていません。



東加茂公園

## 東加茂公園における駐車場整備について

**問** 町における公園の駐車場整備の基準はどのようになっているか。

**答** 都市環境課長

町が行う公園整備では、都市公園法に基づく近隣公園や街区公園などの位置付けにより駐車場を設置しています。

近隣公園に位置付けている宮東、北方中央、条里公園などは、多くの人の利用を想定して駐車場を確保しています。

それ以外の街区公園に位置付けている公園については、近隣の方が徒歩で利用することを想定しており、駐車場を設置していません。

**問** 東加茂公園における駐車場整備の必要性についてどのように考えているか。

**答** 都市環境課長

東加茂公園は、加茂土地区画整理事業により設置された街区公園であるため、駐車場を設置することは考えていません。



三浦元嗣 議員

## パートナーシップ制度の導入は

**問** 同性婚を法制化していない日本において、自治体が同性カップルを公認し証明書を発行するパートナーシップ制度。町での導入は。

**答** 町長

証明書の発行については、実効性や正確性、最新性の担保など多様な課題があると考えます。今後も近隣市町の動向を注視しながら、調査研究を重ねていきます。性的マイノリティに対する配慮は、前向きに進めなければならないと認識していますが、根本的には法改正など国が主体的に取り組むべき課題であると思っています。

## 防災について

**問** 地震災害時、応急危険度判定や罹災証明書発行のための被害認定調査をどのように行うのか。

**答** 税務課長

税務課の主に固定資産税担当の職員が中心となって対応します。県が行う調査員研修に参加するなどして知識や技術を習得し、被害調査に従事できるよう備えています。

**問** 「防災無線が聞き取れない」という苦情がある。なぜ聞こえないのか、原因は。

**答** 総務危機管理課長

毎年の設備点検でスピーカーの向きなどを調整していますが、屋外で聞くことを前提としており、気密性の高い最近の住宅では聞こえにくいことがあると考えます。

**問** もう一つの情報伝達手段であるカワセミ便の登録者数は。また、普及の方法は。

**答** 政策財政課長

令和5年5月末現在の登録者数はメール761人、LINE1,710人、計2,471人です。今後も、広報、町ホームページのほか、各種イベント時やスマホ相談会などを利用して周知していきます。

## 清流通りの歩行者安全について

**問** 加茂徳重交差点～長谷川交差点の間の横断歩道に、信号機の設置を重ねてほしい。

**答** 総務危機管理課長

令和3年、北学園北西からバスターミナル東に押しボタン式信号機を移設するよう警察に要望しましたが、認められませんでした。今回、梅野町・戸羽町子ども会からの要望を受け、北方警察署に署名を提出し信号機設置のお願いをしました。

**問** 横断歩道があることを知らせるカラー舗装により安全性を高めてはどうか。

**答** 総務危機管理課長

信号のない横断歩道については、取り締まり等の効果により停車する車が増えたことに加え、通学路と区別することからも、カラー舗装は現時点で考えていません。

**問** 北学園の通学路の安全点検を行ってはどうか。

**答** 教育課長

町では、通学路交通安全プログラムに基づき、年1回の合同点検と対策の改善・充実を行い、通学路の安全確保を図っています。今年度も8月頃に合同点検を実施する予定です。

## 9月定例会の予定

月	火	水	木	金
			<b>8/17</b> 議会運営委員会	
			<b>24</b> 定例会 第1日 (開会・提案説明) 議案精読	<b>25</b> 議案精読
<b>28</b> 議案精読	<b>29</b> 定例会 第2日 (質疑・委員会付託)	<b>30</b> 定例会 第3日 (一般質問)	<b>31</b> 午前9時30分 厚生都市常任委員会 午後1時30分 総務教育常任委員会	<b>9/1</b> 決算審査 特別委員会
	<b>5</b> 定例会 第4日 (採決・閉会)			

(8月31日を除き午前9時30分開議)

傍聴を希望される方は、役場3階 議会事務局で署名等の手続きをお願いします。

## 南学園 3年生が議場を見学

7月12日(水) 町立南学園の3年生が議場見学に訪れました。  
みんな「わぁ、すごーい」と驚きながら入場。議長席や質問席、議席を順番に回って、感想を言い合ったり書き留めたりして、楽しく見学していました。



## 議会を傍聴しませんか

本会議は、傍聴席または庁舎1階いこいの広場のモニターでもご覧いただけます。

全文記録(会議録)は、後日、議会ホームページに掲載します。こちらをご利用ください。



議会だよりをもっと身近に…

## 表紙の写真を募集しています

北方町の人・もの・景色など、町に関わる写真を募集しています。個人、団体は問いません。写真とデータを持参またはメールしてください。



▲募集要項はこちら

次回 11月1日発行  
応募締切は9月29日(金)

【議会事務局】 ☎058-323-1117  
✉ gikai@town.gifu-kitagata.lg.jp